

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 23.7.14 第 177 回国会第 15 号

7月14日(木)、第15回の委員会が開かれました。

1 農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第81号)

- ・鹿野農林水産大臣、篠原農林水産副大臣、田名部農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
(賛成 民主、自民、公明、社民、石川知裕君(無))
- ・仲野博子君外3名(民主、自民、公明、社民)から提出された附帯決議案について、仲野博子君(民主)から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
(賛成 民主、自民、公明、社民、石川知裕君(無))

(質疑者及び主な質疑内容)

網屋信介君(民主)

- ・指定支援法人及び農水産業協同組合貯金保険機構(以下「貯金保険機構」という。)による資金の調達方法についてどのように考えているか。
- ・資本増強の際、「経営責任を求めない」「収益性の目標を定めない」とすることにより、モラルハザードの懸念がありうるがどのように対応するのか。
- ・1千億円以上の資金量を有する農協等に対し、金融庁の検査の対象となったが、今回特例的に資本増強される農漁協等にも同様の検査がなされるべきではないか。

小里泰弘君(自民)

- ・農林中央金庫を後ろ盾にしたセーフティネットがある農漁協に対し、さらに本法律案による支援措置を講じる理由は何か。
- ・本法律案は、被災農漁協等の体力強化を図ろうとするものであるが、被災農漁業者に対してはどのように支援していく考えか。
- ・二重債務問題に対しどのような対策を講ずるのか。

今村雅弘君(自民)

- ・諫早湾干拓の潮受堤防排水門の開門に向けて、農林水産省としてはどのように進める考えか。
- ・被災農漁協等の資本増強に関し、どの程度の資金が必要と見込んでいるか。また、農漁協等が有する商工業者向けの債権についてはどのように取り扱うのか。

- ・二重債務問題について、ある程度将来を見通した弾力的な融資対応をすべきではないか。

石田祝稔君(公明)

- ・農林水産省は、今回の改正案が被災農漁業者の再建支援にどのようにつながると考えているのか。
- ・貯金保険機構に公的資金が注入されないにもかかわらず、改正附則第24条において、震災特例勘定の廃止の際、残余の額を国庫に納付させるとしている理由は何か。
- ・米の先物取引の試験上場について、与党内でも認可に対する慎重論があり、また、認可の判断期限まで時間があるにもかかわらず、農林水産大臣が7月1日に認可の決定を行った理由は何か。

吉泉秀男君(社民)

- ・被災地域における農漁協の現在の財務状況について、農林水産省はどのように認識しているか。
- ・東日本大震災復興構想会議の「復興への提言～悲惨のなかの希望～(平成23年6月25日)にある漁業に係る「特区」手法の活用について、農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・主食である米の供給に国は責任を持つべきであり、米は投機的な先物取引になじまないと考えるが、今回、試験上場を認可した理由は何か。